

景観作物の栽培による耕作放棄地の解消

しまじり 魚津市 島尻地区

状 況

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：雑草・灌木が繁茂し、人力及び農業機械による再生作業が必要

取組概要

対 象 面 積：0.24ha(水田)

実 施 期 間：平成23年5月～平成23年12月

取組のきっかけ：本地区は片貝川上流域に位置しており、その上流には県定公園などがあり観光客の往来も多い。地元集落からは農村景観及び農業・農村の有する多面的機能を保全すべきとの強い要望があり、耕作放棄地の再生の取り組みを開始した。

調 整 経 緯：地域耕作放棄地対策協議会が、島尻集落を通じ調整を図った。

取 組 主 体：島尻地区振興会

作 業 内 容：耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、再生作業後に景観作物(ヒマワリ)の作付を行った。

今後の予定

島尻地区振興会が景観作物(ヒマワリ)の作付と搾油作業等を行いながら、営農者の確保を図っていく。



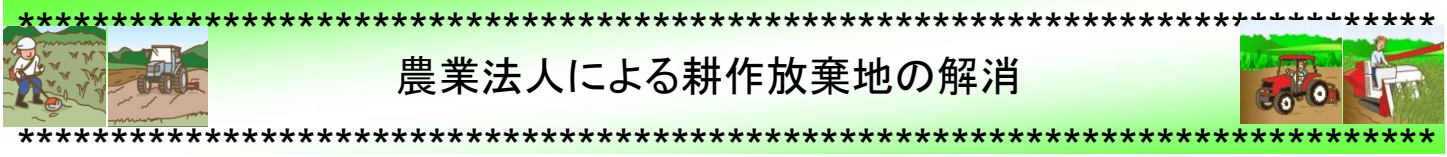
再生作業前



再生作業実施



ヒマワリの刈り取り



農業法人による耕作放棄地の解消

こば 富山市 小羽地区

状況

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等
荒廃の程度：雑草・灌木が繁茂し、人力及び農業機械による再生作業が必要

取組概要

対象面積：0.55ha(水田、畑)
実施期間：平成23年8月～平成23年9月
取組のきっかけ：「中山間地農業の再生」を願い、東京から富山に移り住み農業を始めた(有)土遊野が、美しい棚田の農村景観を取り戻そうと県耕作放棄地対策協議会に解消に向けた取り組みの相談を行い、耕作放棄地の解消が図られた。
取組主体：(有)土遊野
作業内容：耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、再生作業後にそばなどの作付を行った。

今後の予定

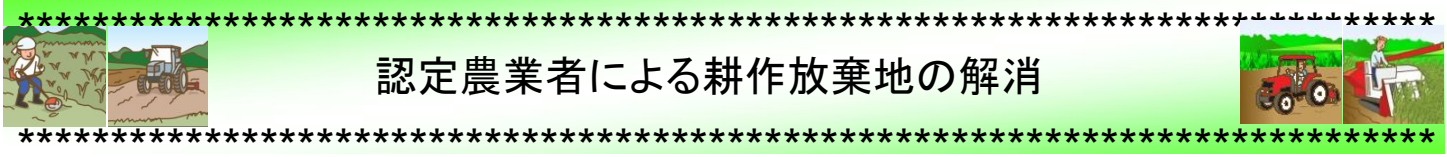
耕作放棄地解消に取り組んだ農業法人は、化学肥料や農薬を使用しない営農にこだわりを持っており、今後とも継続的に営農を行うこととしている。



再生作業前

再生作業実施

再生作業後



認定農業者による耕作放棄地の解消

よかわ 氷見市 余川地区

状 況

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等
荒廃の程度：雑草・灌木が繁茂し、人力及び農業機械による再生作業が必要

取組概要

対 象 面 積:0. 60ha(水田)
実 施 期 間:平成23年4月～平成23年5月
取組のきっかけ:JA氷見市基石支所付近に発生していた耕作放棄地について、農村景観の悪化を懸念した地区農業委員が、美しい農村景観を取り戻そうと関係者に働きかけ取り組みを行った。
調 整 経 緯:地区農業委員が、地元の認定農業者に解消取り組みを働きかけるとともに、地権者との調整も図った。
取 組 主 体:認定農業者
作 業 内 容:耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、前年度に解消した放棄田に有機栽培による野菜の作付を行った。

今後の予定

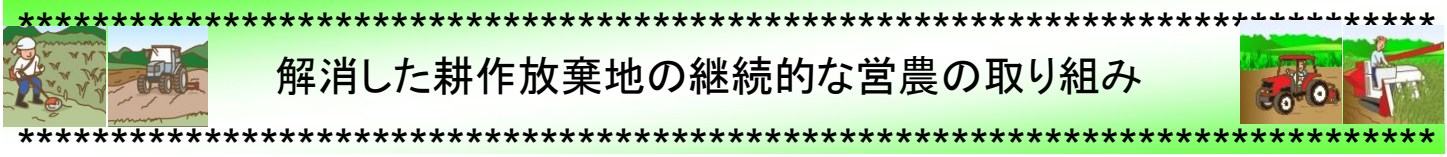
耕作放棄地解消を実施した認定農業者は、積極的に有機農業に取り組んでおり、今後も継続的に営農を行うこととしている。



再生作業前

再生作業実施

ナスの作付



解消した耕作放棄地の継続的な営農の取り組み

南砺市 こうず 楮地区

状況

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：雑草・灌木が繁茂し、人力及び建設機械等による再生作業が必要

取組概要

対象面積：0.25ha(水田)

実施期間：平成23年5月～平成23年12月

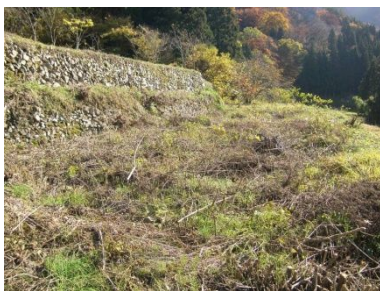
解消の概要：本地区は世界遺産五箇山の玄関口に位置しており、観光客の往来も多い。地区内の棚田景観は特徴的な石積みで形成されているものの、高齢化等により耕作放棄地が増えつつあった。このことから、美しい農村景観を保全していくために、平成22年度に耕作放棄地の解消が図られた。

取組主体：楮集落

取組内容：平成22年度の再生作業後、美しい農村景観整備事業を活用し、地元の特産品である赤カブや景観作物であるヒマワリの作付を行った。

今後の予定

観光地に至る幹線沿いの地区で、市が景観上重要と判断している農地であることから、楮集落としては今後とも赤カブや景観作物等の作付を継続的に行っていくこととしている。



再生作業前



再生作業後



赤カブの収穫